

## 三周ヶ岳:1293m/一等三角点と夜叉ヶ池

2016年6月2日:曇のち快晴 Horike

6月1日夜、古い山仲間より「明日奥美濃の三周ヶ岳に行こう」と誘われた。2007年5月13日以来、9年振りの山行で、ネットによると6月4日が福井側・岐阜側ともに山開きと分かり、林道も問題なさそうである。新緑を楽しみたいと、福井側の岩谷川林道終点の夜叉龍神社より入山することにし、山行届を作成・提出した。

6月2日5時30分、友人の車で自宅を出発。名神高速道路の改修工事のため、登山口の夜叉龍神社到着が予定より遅れ8時50分、身支度・トイレを済ませ9時出発。

登山道はよく整備され、ブナ・ナラ・トチの新緑やコアジサイ・ヤマボウシ・ヤブデマリの花を楽しみながら快適に高度を上げ、10時40分夜叉ヶ池に到着。2005年6月5日の山行では池周辺に残雪があったが、今年は皆無である。相棒と二人だけの静かな夜叉ヶ池である。岸の木々にはモリアオガエルの卵が産み付けられている。

県境稜線に出ると青空が広がり、池ノ又谷への分岐付近にはニッコウキスゲやアザミ・イブキトラノオが咲いている。三周ヶ岳への稜線の道は前回に比べ濃い笹藪に覆われ、灌木も背が高くなっていて。前夜の雨に濡れた藪漕ぎに閉口し、より難しく感じた(年で脚力低下の所為かも...)。途中2ヶ所の岩場付近では、アオモノ・サラサドウダン・ウラジロヨウラク・ナナカマドが出迎えてくれる。アップダウンを数回繰り返し、12時20分一等三角点の置かれた三周ヶ岳に着く。

灌木が繁茂し以前より狭くなった山頂からは残雪の白山・別山、能郷白山、伊吹山・金龕岳・横山岳などが望まれた。軽く昼食を摂り、12時40分下山開始。夜叉丸へ登り返し、夜叉ヶ池で小休止をとる。池の青と木々の緑が美しい、林を抜ける風も梅雨前と思えないほど爽やかでそのまま一気に登山口に下った。

朝のような名神の渋滞を避けるために、今庄ICで北陸道に入り、敦賀ICを出てR8を経て琵琶湖西岸のR161を走る。高島市の道の駅「藤樹の里」で休憩。京都東ICから名神に入り、大山崎ICを経て帰宅した。

<コースタイム>

高槻 5:50⇒大山崎 IC⇒北陸道・今庄 IC⇒夜叉龍神社口 8:45/9:00～夜叉ヶ池 10:40～三周ヶ岳 12:20/12:40～池ノ又谷分岐 13:30～夜叉ヶ池山～夜叉ヶ池 13:50/14:00～夜叉龍神社口 15:10/15:20⇒今庄 IC⇒敦賀 IC⇒R8⇒R161⇒京都東 IC⇒大山崎 IC⇒高槻 18:00



夜叉ヶ池のモリアオガエル



ニッコウキスゲ



イブキトラノオ



アザミ



サラサドウダン



アオモノ



ウラジロヨウラク



コアジサイ



三周ヶ岳と夜叉ヶ池：夜叉丸より